

2. オリジナルPDM

プロジェクト名：ホンジュラス地方女性のための小規模起業支援プロジェクト
 プロジェクトエリア：コパン県、オコテペケ県、レンペーラ県、インティブカ県
 期間：2003年11月～2006年10月
 ターゲットグループ：プロジェクトサイトの貧困女性
 作成日：2004/04/23

プロジェクトの要約	指標	入手段	外部条件
<p>上位目標</p> <p>1. このプロジェクトの活動と成果を活用し、対象地域の貧困女性の生活が向上する</p> <p>2. 同様のアプローチが他地域で実施される</p>	<p>1. 生活条件が向上した女性の数</p> <p>2. プロジェクトのガイドラインを活用した小規模事業実施数</p>	<p>1. 受益者を対象とした生活条件に関する調査</p> <p>2. PRAFを含む関連機関のレポート</p>	<p>カウンターパートが変更されない</p>
<p>プロジェクト目標</p> <p>プロジェクトの女性受益者が地域のリソースを活用した小規模事業を起業・運営できるようにする</p>	<p>1. 2006年までに地元資源を利用した20の自立的な小規模事業が設立され、助言を受けられる</p> <p>2. 小規模事業運営の能力を身につけた女性の数</p> <p>3. 生活改善に資するエンパワメント</p>	<p>1. プロジェクト最終報告書</p> <p>2. プロジェクト実施についての検証ドキュメント</p>	<p>プロジェクトの予算が毎年安定的に計上される</p> <p>PRAFが地方事務所強化のための分権化を促進する</p>
<p>成果</p> <p>0. 明確になった条件を基にプロジェクトサイトが選定され、プロジェクトの実施計画が定められる</p> <p>1. 小規模起業のビジョンを持った女性受益者グループが組織される</p> <p>2. 女性受益者が自立的な小規模事業の起業・運営に必要な知識及び技術を身につける</p> <p>3. PRAFの機材貸与と融資によって小規模事業が促進される</p> <p>4. 小規模事業を阻害する問題が解決される</p> <p>5. 小規模事業を支援するカウンターパートの能力が強化される</p> <p>6. 将来のプロジェクトに実施される目的で本プロジェクトのプロセスと経験が蓄積される</p>	<p>0. (1) プロジェクト実施のために20サイトが決定される</p> <p>(2) 他機関の類似プロジェクトの把握</p> <p>(3) 2004年5月までにプロジェクト・ドキュメントが策定される</p> <p>1. (1) 小規模起業の意欲を示し、組織化された20のグループ</p> <p>(2) 20の実現可能な小規模起業計画</p> <p>2. (1) 2006年までに20の小規模事業が有効に機能する能力を身につける</p> <p>(2) 小規模事業の発展のための受益者の参加度と充足度</p> <p>3. (1) 2006年までにPRAFのクレジットシステムに組み込まれた小規模事業の数</p> <p>(2) PRAFの機材貸与と融資の適切な使用と運用</p> <p>4. (1) 生活の改善のために研修を受けた女性の数</p> <p>(2) 小規模事業の外的脅威に対応するための活動数</p> <p>5. (1) 研修を受けたカウンターパートの数</p> <p>(2) 2006年までに研修を受けたカウンターパートによって支援され、助言を受けた20の小規模事業</p> <p>6. 2006年までにプロジェクト実施についての検証ドキュメントが整備される</p>	<p>0. (1) プロジェクト定期報告書</p> <p>(2) 他プロジェクト訪問報告書及び事例研究報告書</p> <p>(3) プロジェクト・ドキュメント</p> <p>1. (1) プロジェクト定期報告書</p> <p>(2) 小規模起業計画書</p> <p>2. (1) プロジェクト定期報告書</p> <p>(2) 能力向上のプロセス評価</p> <p>(3) 小規模事業の進捗報告書</p> <p>(4) 研修報告書</p> <p>3. (1) グループ評価調査</p> <p>(2) PRAFの融資評価報告書</p> <p>(3) プロジェクト定期報告書</p> <p>(4) 小規模事業の進捗報告書</p> <p>4. (1) プロジェクト報告書</p> <p>(2) 受益者の生活条件に関する調査</p> <p>5. (1) プロジェクト報告書</p> <p>(2) 研修評価報告書</p> <p>(3) カウンターパートの活動報告書</p> <p>6. (1) ガイドラインの分析結果</p> <p>(2) 事例研究報告書</p> <p>(3) 終了時調査の分析結果</p> <p>(4) フィールド調査結果</p> <p>(5) 地域特性に応じたジェンダーエンパワメント指標</p>	

活動	日本人	ホングジュラス	前提条件
<p>0.</p> <p>0-1. PRAFが実施している小規模支援事業を把握する</p> <p>0-2. プロジェクトサイト候補のコミュニティ分析調査を実施する</p> <p>0-3. プロジェクトサイト県の市場調査を実施する</p> <p>0-4. プロジェクトサイトの機関の活動内容を把握し、協力の可能性を検討する</p> <p>1.</p> <p>1-1. 女性受益者の組織形成・強化のための啓発活動及び必要な情報提供を行う</p> <p>1-2. 生産業種を決定するためのワークショップを実施する</p> <p>1-3. 女性受益者が起業計画を策定するためにワークショップを実施する</p> <p>2.</p> <p>2-1. 各グループのニーズに基づいた研修計画を策定する</p> <p>2-2. 自立的な小規模事業が起業するために社会的訓練及び助言を行う</p> <p>2-3. 小規模事業のための職業技術訓練を実施する</p> <p>2-4. 小規模事業運営の訓練及び助言を行う（運営管理方法、法的手続き、流通経路）</p> <p>2-5. 女性受益者が小規模事業発展計画を策定するためにワークショップを実施する</p> <p>2-6. 小規模事業に対する助言サービスを実施する</p> <p>3.</p> <p>3-1. 女性受益者を対象に融資の利用/運営に関する研修を行う</p> <p>3-2. 小規模事業に融資/機材の貸与を行う</p> <p>3-3. 融資/機材に関する指導・助言を行う</p> <p>4.</p> <p>4-1. 小規模起業を阻害する脅威を明確にし、解決案を提案する</p> <p>4-2. 女性受益者の生活の質の向上のために研修及び助言を行う</p> <p>5-1. カウンターパートに対し、女性グループの形成・強化のための研修を行う</p> <p>5-2. 起業した女性受益者へ技術的助言を提供するためにカウンターパートを対象とした研修を行う</p> <p>5-3. 起業した女性受益者の事業運営に必要なアドバイスを行うためにカウンターパートを対象とした研修を行う</p> <p>6-1. プロジェクトサイトの各活動の評価を行う</p> <p>6-2. プロジェクト活動のモニタリングとフォローアップを行う</p> <p>6-3. プロジェクトの成果にかかる報告書を蓄積する</p> <p>6-4. プロジェクトの成功例と失敗例の事例研究を実施する</p> <p>6-5. 地域特性に応じたジェンダーエンパワメント指標を作成する</p>	<p>専門家派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期専門家 1. チーフアドバイザー 2. 研修計画 3. 参加型開発/ジェンダー/業務調整 <ul style="list-style-type: none"> ・短期専門家 必要に応じ <p>研修員受入れ 年間若干名</p> <p>機材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修に必要な機材 ・専門家の活動に必要な機材 	<p>人材</p> <p>PRAF</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトダイレクター ・プロジェクトマネージャー ・ファインダンスサービスオフィサー <ul style="list-style-type: none"> ・ノンファインダンスサービスオフィサー ・ドライバー ・セクレタリー <p>INFOP</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北西地域サブディレクター <p>建物、施設</p> <p>オフィス備品、消費財</p> <p>ローカルコスト</p> <p>小規模事業のためのファンド</p>	<p>前提条件</p> <p>融資財源が確保される</p>

* PDMの各活動についてはプロジェクト実施ユニット（Project Technical Unit）が柔軟に変更できるものとする。PDMのその他の部分については、関係機関との相談の上、変更できるものとする。

プロジェクト名：ホンジュラス地方女性のための小規模起業支援プロジェクト

期間：2003年11月～2006年10月

実施地域：Copán県、Lempira県

裨益者：貧困地域に居住する女性

作成日：22/09/2005

プロジェクトの要約	指標	入手段	外部条件
<p>上位目標</p> <ol style="list-style-type: none"> このプロジェクトの活動と成果を活用し、対象地域の貧困女性の生活が向上する 同様のアプローチが他地域で実施される <p>プロジェクト目標</p> <p>プロジェクトの女性受益者が地域のリソースを活用した小規模事業を起業・運営できるようにする</p>	<p>1. 生活条件が向上した女性の数</p> <p>2. プロジェクトのガイドラインを活用した小規模事業実施数</p> <p>1. 2006年までに地元資源を利用した17の自立的な小規模事業が設立され、助言を受ける</p> <p>2. 小規模事業運営の能力を身につけた女性の数</p> <p>3. 生活様式(行動、意識)に変化が見られた女性の数</p>	<ol style="list-style-type: none"> 受益者を対象とした生活条件に関する調査 PRAFを含む関連機関のレポート <ol style="list-style-type: none"> プロジェクト最終報告書 プロジェクト実施についての検証ドキュメント エンバワメント指標の評価 	<p>カウンターパートが変更されない</p>
<p>成果</p> <ol style="list-style-type: none"> 明確になった条件を基にプロジェクトサイトが選定され、プロジェクトの実施計画が定められる 小規模起業のビジョンを持った女性受益者グループが組織される 女性受益者が自立的な小規模事業の起業・運営に必要な知識及び技術を身につける PRAFの機材供与/融資プログラムによって小規模起業が資本化される* 小規模事業を阻害する主要な問題を解決するための経験が蓄積される 小規模事業を支援するカウンターパートの機能が強化される 将来のプロジェクトに実施される目的で本プロジェクトのプロセスと経験が蓄積される 	<ol style="list-style-type: none"> プロジェクト実施のために12サイトが決定される 他機関の類似プロジェクトの把握 2004年5月までにプロジェクト・ドキュメントが策定される 小規模起業の意欲を示し、組織化された17のグループ 小規模起業計画を展開するグループ数 2006年までに17のグループが小規模事業を有効に運営する 小規模事業の発展のための受益者の参加度と充足度 女性のエンバワメント度 2006年までにPRAFの融資または機材を利用した小規模企業の数 小規模事業の外的及び内的脅威に対応するための活動数 研修、助言を受けた小規模企業、女性の数 研修を受けたカウンターパートの数 プロモーターによる業務が事前に定められた基準を満たす 2006年までにプロジェクト実施についての検証ドキュメントが整備される 	<ol style="list-style-type: none"> プロジェクト定期報告書 他プロジェクト訪問報告書及び事例研究報告書 プロジェクト・ドキュメント プロジェクト定期報告書 小規模起業計画書 裨益者の生活状況と意識に対するアンケート プロジェクト定期報告書 裨益者の活動に対するアンケート結果 小規模事業の進捗報告書 研修報告書 エンバワメント指標のモニタリング結果 グループ評価調査 PRAFの融資評価報告書 プロジェクト報告書 小規模事業の進捗報告書 プロジェクト定期報告書 研修報告書 プロジェクト報告書 研修評価報告書 プロモーターの活動に関するモニタリング、評価 ガイドラインの分析結果 事例研究報告書 終了時調査の分析結果 フィードバック調査結果 	<p>プロジェクトの予算が毎年安定的に計上される</p> <p>PRAFが地方事務所強化のための分権化を促進する</p>

*「資本化される」とは、小規模起業を実施するための資本が準備されることを意味する。

活動	日本人	
<p>0.</p> <p>0-1. PRAFが実施している小規模支援事業を把握する</p> <p>0-2. プロジェクトサイト候補のコミュニティ分析調査を実施する</p> <p>0-3. プロジェクトサイト県の市場調査を実施する</p> <p>0-4. プロジェクトサイト県の機関の活動内容を把握し、協力の可能性を検討する</p> <p>1.</p> <p>1-1. 女性受益者の組織形成・強化のための啓発活動及び必要な情報提供を行う</p> <p>1-2. 生産業種を決定するためのワークショップを実施する</p> <p>1-3. 女性受益者が起業計画を策定するためにワークショップを実施する</p> <p>2.</p> <p>2-1. 各グループのニーズに基づいた研修計画を策定する</p> <p>2-2. 自立的な小規模事業が起業するために社会的訓練及び助言を行う</p> <p>2-3. 小規模事業のための職業技術訓練を実施する</p> <p>2-4. 小規模事業運営の訓練及び助言を行う（運営管理方法、法的手続き、流通経路）</p> <p>2-5. 女性受益者が小規模事業発展計画を策定するためにワークショップを実施する</p> <p>2-6. 小規模事業に対する助言サービスを実施する</p> <p>2-7. 地方特性に応じたエンバワメント指標が適用される</p> <p>3.</p> <p>3-1. 女性受益者を対象に融資／機材の利用及び運営に関する研修を行う</p> <p>3-2. 小規模事業に融資／機材の貸与を行う</p> <p>3-3. 融資／機材に関する指導・助言を行う</p> <p>4-1. 小規模起業を阻害する脅威を明確にし、解決案を提案する</p> <p>4-2. 女性受益者の生活上のための研修及び助言をする</p> <p>5-1. カウンターパートに対し、女性グループの形成・強化のための研修を行う</p> <p>5-2. 起業した女性受益者へ技術的助言を提供するためにカウンターパートを対象とした研修を行う</p> <p>5-3. 起業した女性受益者の事業運営に必要なアドバイスをを行うためにカウンターパートを対象とした研修を行う</p> <p>6-1. プロジェクトサイトの各活動の評価を行う</p> <p>6-2. プロジェクト活動のモニタリングとフォローアップを行う</p> <p>6-3. プロジェクトの成果にかかる報告書を蓄積する</p> <p>6-4. プロジェクトの成功例と失敗例の事例研究を実施する</p>	<p>日本側</p> <p>専門家派遣</p> <p>・長期専門家</p> <p>1. チーフアドバイザー</p> <p>2. 研修計画</p> <p>3. 参加型開発 / ジェンダー / 業務調整</p> <p>・短期専門家 必要に応じ</p> <p>研修員受入れ 年間若干名</p> <p>機材</p> <p>・研修に必要な機材</p> <p>・専門家の活動に必要な機材</p>	<p>ホングジュラス側</p> <p>人材</p> <p>PRAF</p> <p>・プロジェクトダイレクター</p> <p>・プロジェクトマネージャー</p> <p>・ファイナンスサージャ</p> <p>・ノンファイナンスサージャ</p> <p>・ドライバー</p> <p>・セクレタリー</p> <p>INFOP</p> <p>・北西地域サブディレクター</p> <p>建物、施設</p> <p>オフィス用品、消費財</p> <p>ローカルコスト</p> <p>小規模事業のためのフアэнд</p>
	<p>前提条件</p> <p>融資財源が確保される</p>	

* PDMの内容は必要に応じて修正される。PDMの“活動”はUTTPの決定に従って柔軟に修正することができ、その他のPDMの部分についても関連する機関との協議によって修正することができる。

4. 現行PDMとPDM改訂版との比較表

項目	現行PDM	改訂PDM	改訂理由
活動地域	コパン県、レンピーラ県、オコテベケ県、インティブカ県	コパン県、レンピーラ県	現行の活動場所はコパン県、レンピーラ県のみであり、プロジェクトの実施期間は残り1年半であることから、持続可能な小規模事業の育成を考慮し、活動場所をコパン県、レンピーラ県とする
プロジェクト目標			
指標 1	2006年までに地元資源を利用した20の小規模事業が設立され、助言を受け入れる	2006年までに地元資源を利用した17の小規模事業が設立され、助言を受け入れる	現行PDMでは20グループの起業を目標としているが、持続可能な小規模事業の育成を目標としているため、プロジェクトの実施期間を考慮し、現在活動が行われている17グループにおいて、自立的な事業活動が行われることを目標とする
入手手段 (3)	挿入	エンパワメント指標のモニタリング結果	エンパワメント指標のモニタリング結果より生活様式(行動、意識)の変化を測るため
成果			
成果 0 指標 0 - (1)	プロジェクト実施のために20サイトが決定される	プロジェクト実施のために12サイトが決定される	現行PDMでは20サイトの起業を目標としているが、持続可能な小規模事業の育成を目標としているため、プロジェクトの実施期間を考慮し、現在活動が行われている12サイトにおいて、自立的な事業活動が行われることを目標とする
成果 1 指標 1 - (1)	小規模起業の意欲を示し、組織化された20のグループ	小規模起業の意欲を示し、組織化された17のグループ	現行PDMでは20グループの起業を目標としているが、持続可能な小規模事業の育成を目標としているため、プロジェクトの実施期間を考慮し、現在活動が行われている17グループにおいて、自立的な事業活動が行われることを目標とする
成果 2 指標 2 - (1)	2006年までに20の小規模起業が有効に機能する能力を身につける	2006年までに17の小規模起業が有効に機能する能力を身につける	現行PDMでは20グループの起業を目標としているが、持続可能な小規模事業の育成を目標としているため、プロジェクトの実施期間を考慮し、現在活動が行われている17グループにおいて、自立的な事業活動が行われることを目標とする
2 - (3)	挿入	女性のエンパワメント度	成果2では、小規模起業運営に必要な技術や知識を身に付ける過程で、女性のエンパワメントが見込まれるため
成果 3	PRAFの機材供与と融資によって小規模起業が促進される	PRAFの機材供与 / 融資によって小規模起業が資本化される	現行PDMでは「小規模起業が強化される」とあるが、「強化される」手段として「資本化する」とした *小規模起業を実施するための資本が準備されること
成果 4	小規模事業を阻害する問題が解決される	小規模事業を阻害する主要な問題を解決するための経験が蓄積される	対象とする17グループについて、それぞれが直面している問題を解決するための経験を蓄積し、他の事例に適用するための参考とする
成果 4 指標 4 - (1)	生活の改善のために研修を受けた女性の数	研修、助言を受けた小規模企業、女性の数	生活改善のための研修に限定しない

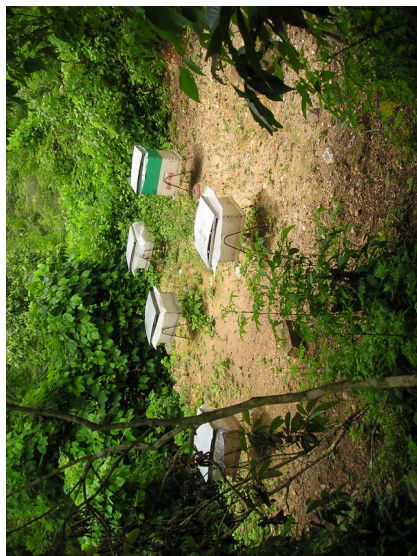
項目	現行PDM	改訂PDM	改訂理由
成果 5	小規模事業を支援するカウンターパートの能力が強化される	小規模起業を支援するカウンターパートのメカニズムが強化される	プロジェクト事務所がPRAF本部と物理的に離れており、『カウンターパートの能力強化』という属人的な成果は現体制に合っていないことから、『カウンターパートのメカニズムの強化』とする
成果 5 指標	2006年までに研修を受けたカウンターパートによって支援され、助言を受けた20の小規模事業	プロモーターによる業務が事前に定められた基準を満たす	プロモーターの業務に関して、モニタリングを行うため
成果 5 指標 入手手段	カウンターパートの活動報告書	プロモーターの活動に関するモニタリング、評価	プロモーターの業務に関して、モニタリングを行うため
活動 2	挿入	地方特性に応じたエンパワメント指標が適用される	成果2で、女性のエンパワメントについて評価するため
活動 3	3-1. 女性受益者を対象に融資の利用及び運営に関する研修を行う 3-2. 小規模事業に融資及び機材の貸与を行う 3-3. 融資に関する指導・助言を行う	3-1. 女性受益者を対象に融資 / 機材の利用及び運営に関する研修を行う 3-2. 小規模事業に融資 / 機材の貸与を行う 3-3. 融資 / 機材に関する指導・助言を行う	融資だけでなく、機材の利用、運用についても研修を行う

5. 各グループの特徴

サイト	グループ名	会員数	起業分野	結成時期	支援内容（技術研修、社会研修、フォーアアップ）	販売まで至っているサイト	
コバン県	1 Carrizalón	13	養蜂	2005.03	技・フォ	×	
		15	陶器		未実施		
	3 La Pintada	12	織物	2005.04	技・社・フォ	×	
			Tusa製品		未実施		
	5 Agua Caliente	Mujeres Trabajando por un Futuro Mejor	8	製粉	2005.02	技・社・フォ	
		GRUTECA EMANUEL	8	ろうけつ染め	2005.02	技・社・フォ	
		Arbol de Vida	8	製パン	2005.02	技・社・フォ	
Alfareria Rubí		8	陶器	2004.09	技・社・フォ		
9 EL Jaral	Fé y Esperanza	10	シルクスクリーンプリン	2005.01	技・社・フォ		
レンビラ県	10 Tontolo	7	製紙	2004.12	技・社・フォ		
	11 Cruz Alta	14	製パン、Tusa製品	2004.12	技・社・フォ		
		12 La Campa	12	織物	2005.04	技・社・フォ	×
	13 Nueva Esperanza	Bendición de Dios	13	グアバとブドウ栽培	2005.02	技・社・フォ	×
	14 Casco	Superacion Femenina	8	製粉	2005.06	技・社・フォ	
	15 Casco	El Mananteal	11	菓子（未定）		社・フォ	×
	16 Chimis	未定	13	ヤギ飼育	2005.08	未実施	×
17 El Cipres	Mujeres Hacia Un Nuevo Progreso	13	養蜂	2005.05	技・社・フォ	×	

は、新グループ及び新サイト

グループ名	TRABAJADORAS DE LA MIEL
人数	13名
所在地	コパン県コパン・ルイナス
コミュニティ名	カリサロン
起業分野	養蜂
進捗状況	組織化 起業分野選定 研修
地域の特色	チヨルティ人のコミュニティ。コパン・ルイナス市街地から4kmと比較的近いが、アクセス道路が不備なため、雨季の通行に支障がある。乾季には水が不足する。土地の所有権は村の共有で、住民の大半は個人の所有権がない。ベースライン調査結果によると、経済的に女性は男性に依存しており、女性のリソースへのアクセス、発言権、意思決定権は弱く、マチスモ（男性優位主義）の度合いが強い。女性は早婚の傾向がある。女性の陶器グループが組織されているが、その他にコミュニティの女性が組織化された経験はない。就学年数が男女共に平均小学3年生までであり、男女共に中途退学率が高い。大多数が敬虔なカトリック教徒である。
起業の経緯	2004年11月頃から住民に呼びかけ集会を行った。住民側の女性から、以前養蜂家がこのコミュニティで利益を上げたという経験談が話されたことが、起業業種の決定のポイントとなった。短期的な収入獲得のため、2005年7月よりわらじづくりの技術研修を実施している。養蜂研修、植林、接木研修を予定しており、わらじ研修、生産販売は10月以降となる。会計方法についても、担当者に指導している段階である。
グループの特徴	プロモーターとの信頼が厚く、現在まで順調に起業までのプロセスが進んでいる。リーダーが不在であるが、代行の女性がグループを取りまとめている。
阻害要因・問題点	家屋が散在しているため3グループに分けたが、小グループごとにまとまりのあるところとないところがある。全体がひとつのグループであることを機会あるごとに説明しているが、3つの生産小隊に分けたことが内部のまとまりを阻害する要因になる可能性がある。



グループ名	JARDÍN DE MUJERES TEJIENDO MAYA CHORTI
人数	10名
所在地	コパン県コパン・ルイナス市
コミュニティ名	ピンターダ
起業分野	織物
進捗状況	組織化 起業分野選定 研修
地域の特色	チヨルティ人のコミュニティ。幹線道路沿いに位置する農村で、製品の販売のうえで利点を持つ。土地の所有権は村の共有で、住民の大半は所有権がない。土地を基本にした収入の道はほとんどない。コミュニティの組織化が始まったのが1995年で、コミュニティの土地を確保する考えから土地所有者との間で争いがあり、土地所有者側から殺人などの脅しがかげられた。2000年に政府の助力で土地が確保され、2000年に学校建設、2001年に学校給食、アクセス道路建設、飲料水システム設置、公民館の建設、幼稚園開始、2003年に電化、2004年にChayaからパイナップルとバナナの苗木供与など急激に援助が入った。ベースライン調査結果によると、村の意思決定の場である理事会に参加している女性の割合が比較的高い。就学年数は男女共に小学2年生までであり、男女共に中途退学率が高い。男性に比べ女性の非識字率が高く、女性が融資を受けている割合は低い。ともろこしの皮を使った人形の民芸品をつくる女性グループが存在している。一部の男性は女性の民芸品販売による収入を評価しているが、女性を支援するには至っていない。その他にコミュニティの女性が組織化された経験はない。女性は多産の傾向がある。
起業の経緯	住民召集に時間がかかり、グループ化までに約4か月かかっている。また、積極的な起業業種の提案もなかった。他地域への視察旅行や製パン研修によりプロジェクトが行っている活動の理解を深めてもらい、自分たちが興味を持つ業種として織物を選んだ。技術研修は8月に開始されるが、織物技術習得には時間がかかるため、製品販売は来年に入ってからになる見込みである。
グループの特徴	先住民のチヨルティ族の人々が形成したグループで、土地の所有をはじめとして諸権利が認められたのは最近のことである。そのため、グループに参加する女性には教育の機会さえもなく、読み書きのできる人は少ない。しかし、プロモーターの熱心な指導により、読み書きのできない高齢の女性が織物のできるようになるなど、グループのやる気が高まっている。委員長を中心にまとまりのあるグループである。現在は学校の施設の一部を作業場としており、コミュニティリーダーから土地を譲り受け、新しく作業場と販売所を兼ねた組織を建設するために、観光庁へ融資を申請する予定である。女性の意識、行動に変化が現れはじめている。また、コミュニティの男性も活動に参加することを望んでいる。
今後の課題	織物の設置、模様のデザイン、経理などある程度の計算が必要とされる活動について、研修が必要である。活動へ参加しやすい人と距離的にしにくい人がおり、脱落せずに何名が継続できるか、また、活動の中に観光客へ織物技術を教えるサービスも考えているが女性がどこまで対応できるか未知の部分が多い。織物の品質が市場レベルに達し、販売できるようになるまでに時間がかかることから、起業のインセンティブを落とさず、息の長い支援活動が必要になると思われる。



グループ名	MUJERES TRABAJANDO POR UN FUTURO MEJOR
人数	10名
所在地	コパン県コパン・ルイナス市
コミュニティ名	アグア・カリエンテ
起業分野	製粉
進捗状況	組織化 起業分野選定 研修 生産 販売
地域の特色	山間部に位置する農村で、市街地までのアクセスが悪いが、道路整備や電化など基本的なインフラの整備が進んでいる。地区により経済水準に格差がある。治安が比較的悪い。温泉があり、市役所では新しい観光地として開発する意欲を持っている。主に大地主が持つ農場での日雇い労働で収入を得ている。女性は、組織化された経験がない。ベースライン調査結果によると、就学年数が男女共に平均小学3年生までであり、男女共に中途退学率が高い。女性は経済的に男性に依存している傾向があり、地区により夫の暴力も多く、移動範囲が狭い。女性は多産の傾向がある。カトリック教徒とプロテスタント教徒が半数ずつの割合。
起業の経緯	過去4回の住民集会をもとに2005年1月にグループが形成された。2005年3月に製粉機を設置し、操業を開始した。しかし、グループ内の軋轢が大きくなり、2005年5月に緊急集会が持たれた。そこで社会研修（人間関係の保ち方）の実施や内部規定の早期決定が話し合われた。現在は規則を制定し、グループの結びつきが強くなり、順調な活動を行っている。
グループの特徴	グループに参加した理由として、「新しいことが学べるから」「働けるから」「働けるから」であった。全体的に独立心旺盛であり、問題も自らの努力で解決している。グループが新体制となったため、今後の変化を観察中である。
今後の課題	グループ内の人間関係がこじれ、メンバーの脱落が生じた。また、治安に不安のある地域であるため、問題を未然に防ぐ対応が常に要求される。企業規模を現在のレベルにするのが、それとも副業を考えて収入の増加を図るのかによって企業の形態が変化する。



グループ名	GRUTECA EMANUEL
人数	10名
所在地	コパン県コパン・ルイナス
コミュニティ名	アグア・カリエンテ
起業分野	染色（ろうけつ染め）
進捗状況	組織化 起業分野選定 研修 生産 販売
地域の特色	山間部に位置する農村で、市街地までのアクセスが悪いが、道路整備や電化など基本的なインフラの整備が進んでいる。地区により経済水準に格差がある。治安が比較的悪い。温泉があり、市役所では新しい観光地として開発する意欲を持っている。主に大地主が持つ農場での日雇い労働で収入を得ている。女性は、組織化された経験がない。ベースライン調査結果によると、就学年数が男女共に平均小学3年生までであり、男女共に中途退学率が高い。女性は経済的に男性に依存している傾向にあり、地区により夫の暴力も多く、移動範囲が狭い。女性は多産の傾向がある。カトリック教徒とプロテスタント教徒が半数ずつの割合。
起業の経緯	住民と4回にわたり話し合いをした結果、2005年1月にろうけつ染めを希望する女性が12名集まりグループが形成された。2月にグループ名と理事会メンバーが選出され、プロジェクトとの間で各種研修が計画された。3月中旬に2回の技術研修と市場調査を行い、観光客が望む商品の質や好みを把握した。6月からの観光シーズンに向けて、研修を繰り返して、商品の質が販売可能なレベルまで向上した。8月から委託販売を始めている。
グループの特徴	技術レベルは向上し製品は販売レベルに達している。積極性は感じられないが緩やかにまとまっているグループである。リーダーはろうけつ染め、帳簿の付け方など、講習で学習したことを自分のノートに分かりやすくまとめている。指導者としての活躍が期待される。また、メンバーの中から新しいデザインや新製品を考案するなど、グループの活動に主体性が出てきている。グループに参加した理由について、「新しいことが学べるから」「働きたいから」であり、「収入が得られるようになったら家を直したい」と具体的な目標を持つ人も出てきている。
阻害要因・問題点	生産と販売のサイクルが円滑に回るようになれば、グループの活力が増進する。グループメンバーは販売面での経験が皆無であるため実践を通して強化する予定である。



グループ名	ÁRBOL DE VIDA
人数	10名
所在地	コパン県コパン・ルイナス
コミュニティ名	アグアカリエンテ
起業分野	製パン
進捗状況	組織化 起業分野選定 研修 生産 販売
地域の特色	山間部に位置する農村で、市街地までのアクセスが悪いが、道路整備や電化など基本的なインフラの整備が進んでいる。地区により経済水準に格差がある。治安が比較的悪い。温泉があり、市役所では新しい観光地として開発する意欲を持っている。主に大地主が持つ農場での日雇い労働で収入を得ている。女性は、組織化された経験がない。ベースライン調査結果によると、就学年数が男女共に平均小学3年生までであり、男女共に中途退学率が高い。女性は経済的に男性に依存している傾向があり、多産の傾向がある。地区により夫の暴力も多く、女性の移動範囲が狭い。宗教はカトリック教徒とプロテスタント教徒が半数ずつの割合。
起業の経緯	過去4回の住民集会をもとに2005年1月にグループが形成され、2月にグループ名と理事会メンバーが決定された。その後、技術研修と市場調査を行い、コミュニティ周辺で大型の消費者を見つけ順調に操業を開始した。その後、顧客の要望が変わり、パン製造の規模が縮小された。
グループの特徴	幹線道路に近いため、ドライバ一等を顧客とし、売り上げが上がりつつある。パンのほかに「マヤクッキー」を製造しており、製品の品質は向上している。しかし、グループが内部で2派に別れており、これがグループの活力を減少させている。
今後の課題	専門家への依存心の強さがグループ独自の発展を阻害している。生産面ではある程度レベルが上がったので、販売活動の促進等、一層の努力を必要とする。



グループ名	ALFARERÍA RUBI
人数	8名
所在地	コパン県サンタ・リタ市
コミュニティ名	ブラネス・デ・ラ・ブレア
起業分野	陶器
進捗状況	組織化 起業分野選定 研修 生産 販売
地域の特色	山間部に位置するが、幹線道路に近くアクセスが比較的良い。村内の経済水準に格差がある。米国への出稼ぎが多く、その収入がもたらされている。もともと粘土を使って瓦やレンガの生産を行っているコミュニティである。女性達の活動に対する家族の理解度が高く、活動を支援している。
起業の経緯	プロジェクトが最初の接触を持ったときには既にグループは形成されており、1回目の陶器生産研修も終わっていた。その後、技術、社会、企業研修を実施し、生産販売が可能なレベルにまで到達した。現在は、観光庁の基金を利用して作業場の改善を行っている。
グループの特徴	リーダーを中心に非常にうまくまとまっており、個人が自分の役割を理解し、「グループの活動をいかにして良くしていくか」を考えている。陶器のデザインも独創的なものを自分達で考案している。支援しているグループで最も人的資源が高く、メンバーの内2名が高校卒である。メンバーは血縁関係で結ばれている。地元の小学校において教師が雇用できない際に、グループの援助により教師を雇用するなど、個人の利益追求のみならず、コミュニティのために活動するという考えを持った社会性の高いグループに成熟している。他機関に対する働きかけも積極的である。
今後の課題	製品の質は向上しており、販売が可能なレベルに達していることから、製品の輸送手段の確保、顧客の獲得など、販売活動の強化を図る必要がある。



グループ名	FÉ Y ESPERANZA
人数	10名
所在地	コパン県サンタ・リタ市
コミュニティ名	ハラル
起業分野	シルクスクリンプリント
進捗状況	組織化 起業分野選定 研修 生産 販売
地域の特色	幹線道路沿いにあり、製品の販売のうえで利点を持つ。土地の所有権は大地主（銀行家）の所有で、住民の大半は所有権がなく、出稼ぎ者からの送金により生計を立てている家族が多い。タバコ栽培と葉巻製造を行うために農場労働者として集まった人々が形成した村落である。1990年代にタバコの栽培が下火となり、多くの人が雇用を失った。そのため、村落周辺での賃労働か出稼ぎが住民の生計を支える手段となっている。ベースライン調査結果によると、個人所得（月収）の男性平均は、Lps.251～Lps.500（約1,506～3,000円）であるのに対し、女性平均は、Lps.0からLps.100（約0～600円）と格差がある。就学年数は男性が平均小学6年生に対し女性は平均小学3年生と低く、男女共に約40%が読み書きができないと回答していることから識字率が低いといえる。家族計画や子供についての決定、世帯所得の管理について、女性の発言権が強いと回答している割合が高いが、シングルマザーが多いためと考えられる。事実婚が多く、女性は早婚、多産の傾向がある。宗教はカトリックとプロテスタントが半数ずつの割合になっている。
起業の経緯	2005年1月に手工芸（シルクスクリン）と製パンのグループが形成された。しかし、製パングループは参加者が集まらず自然消滅した。手工芸グループは製紙とシルクスクリンによるシャツプリントを活動内容に決定し、2005年1月から研修を開始した。
グループの特徴	グループへの参加が個人的な収入増加ではなく、コミュニティに不足する雇用源の創出を目的にしており、他地域に見られない公的な意識が高い。リーダー、会計担当者は他のプロジェクトで働いた経験がある。リーダーは自ら販売交渉に出向くなど、積極的に活動している。
今後の課題	シルクスクリンでの起業ではデザインの良い商品が売行きに影響してくるため、デザイン部門の人材育成が課題である。グループのメインの製品であるTシャツのデザインについても、たくさんのデザインサンプルを作成し、売行きを見ながら生産していく作業を進める必要がある。具体的な作業として、学校、教会の行事で使うシャツを受けるなどの市場確保（探す作業）の作業を進めることが望まれる。

